



9年間を通して学ぶ「幸せに生きる・幸せな社会を築く」ための学習活動

人権みらい探究科

現代社会には、地球環境問題をはじめ、戦争や紛争、貧困や格差、差別や人権侵害、少子高齢化、エネルギー問題、食糧問題、情報技術の進展やAIの進化、グローバル化に伴う様々な影響と課題、自然災害など、たくさんの課題があります。

こうした社会を生きていく上で、自分の生き方をしっかりと見つめ、自他を大切にしながら、国籍や文化の違いを越え、仲間と協力しながらこれらの課題を解決し、誰もが幸せに生きることが出来る持続可能な世界の創り手・担い手として社会に巣立っていける子どもたちを育てる。そのための学びが、「人権みらい探究科」です。

人権みらい探究科の
4つの領域

個の領域

「自己理解」「自己実現」「キャリア発達・勤労観・職業観」「健康・性・命」など

他者関係の領域

「他者理解」「コミュニケーションスキル」「グローバルコミュニケーション」「いじめ問題」「多様性」「ピアサポート」「協力・協働」など

社会関係の領域

「人権理解」「人権課題・人権保障」「福祉・社会保障」「ユニバーサルデザイン」「市民性」「多文化共生」「国際理解・平和」など

自然関係の領域

「環境問題」「エネルギー問題・資源問題」「自然災害・災害対応・防災」「自然との共生」「持続可能な社会づくり」など

知る・感じる・受けとめる

自分を高めたり、他者とのかかわりを豊かにするための知識を得たり、体験をしたりすることや、様々な課題について知る機会を多く持つ中で、豊かな人権感覚を養います。

学びを深めてくれる多くのゲストティーチャーに出会います。



考える・議論する・聴き合う

学んだことを交流しあったり、今の自分の課題や思い・願いを聴き合ったりすることを通して、深い学びや他者理解につなげます。「議論の仕方」を学び、オープンマインドな学び合いの経験を積むことで、「正解のない問題」に対



まとめる・伝える・発信する

「情報収取・整理分析の仕方」「表現・プレゼンテーションの仕方」等を学び、伝えたり、発信したりする経験を積むことで、学んだことを整理し、自分の意見を持ち、自分の言葉で伝えることができる力を養います。



行動する・実践する・創造する

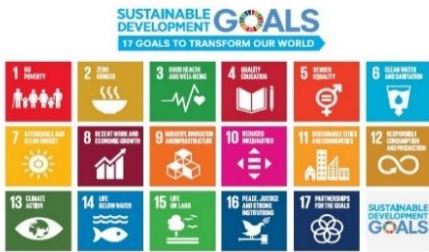
学んだことを活かし、自他を大事にするためのアクションや、社会をより良いものにしていくためのプロジェクトを実行することで、学びをさらに深め、自信へとつなげていきます。



「人権みらい探究科」で育みたい7つの資質・能力・態度

- 1 客観的な情報に基づいて問題をとらえ、よりよい解決方法を考えることができる力・探究する力
- 2 ものごとを多面的・総合的にとらえ、自分とのかかわりを考えることのできる力
- 3 様々な方法によるコミュニケーションを通して、自分の考えを伝えるとともに、他者を理解し、共生する力
- 4 未来像を予測して計画を立てる力・実行する力
- 5 他者とのつながりを尊重し、協力・共同・協働して、課題を解決していこうとする意欲・態度
- 6 よりよい状況を生み出すために、進んで取り組む意欲・態度ならびに取り組みに前向きに参加しようとする意欲・態度
- 7 自分の人権を守り、他者の人権を守ろうとする意欲・態度ならびに実践力

世界に 未来につながる学びと実践を！ -SDGs達成をめざした学び-



SDGsとは「Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)」の略称です。2015年9月の国連サミットで採択された国際社会共通の目標(17のゴール)です。

【貧困をなくそう】【飢餓をゼロに】【すべての人に健康と福祉を】【質の高い教育をみんなに】【ジェンダー平等を実現しよう】【安全な水とトイレを世界に】【エネルギーをみんなに そしてクリーンに】【働きがいも経済成長も】【産業と技術革新の基盤をつくろう】【人や国の不平等をなくそう】【住み続けられるまちづくりを】【つくる責任つかう責任】【気候変動に具体的な対策を】【海の豊かさを守ろう】【陸の豊かさを守ろう】【平和と公正をすべての人に】【パートナーシップで目標を達成しよう】

「人権みらい探究科」はこの目標の達成を担うこどもたちの育成と取組みを推進します。

コアカリキュラムとしての『人権みらい探究科』

